

IoTを活用したベビーリーフ栽培（宜野座村）

R2.4.1現在

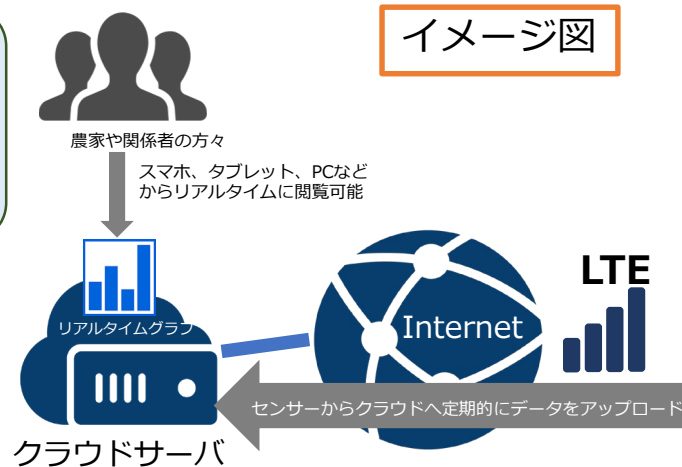
事業者	トラストコミュニケーション株式会社		
事業費	1,403 千円	活用している補助事業	公益社団法人沖縄県地域振興協会 平成30年度地域振興研究助成事業
事業概要	沖縄県内の第一次産業（農業）においては、高齢化・担い手不足が問題となっている。一方では地元農産物への需要は高まっており、供給力強化が課題となっている。本研究では、IoT技術を用いて、これらの問題と課題について、ベビーリーフの生産農家の協力を得て検証し、安定生産および品質向上の有効性について検証する。また、ベビーリーフを一例として、農産物のブランド化の確立、地域の特産品を活用したコミュニティビジネスへの昇華の可能性についての研究を行う。		

課題

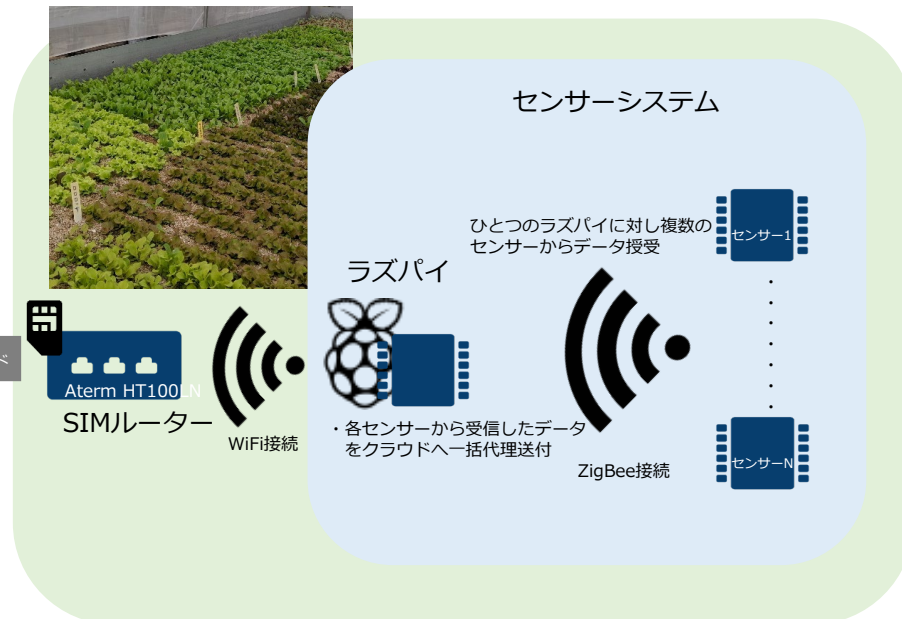
- ✓ ベビーリーフの育成や病気に影響をもたらす原因が分からない
- ✓ ベビーリーフの品質向上を図りたい
- ✓ 安定したベビーリーフの生産
- ✓ ベビーリーフを生産する農家の育成を図りたい

クラウド側で実施すること

- ・データの蓄積
- ・蓄積したデータをリアルタイムにグラフ化
- ・蓄積したデータを人力で分析
- ・蓄積したデータをAI（マシンラーニング）にて分析実施



ベビーリーフ農場



効果目標

- ✓ 各種ベビーリーフの育成にどの温度や湿度などといった外部要因が大きな影響をもたらしているのか特定（病気になる要因も同時に特定）
- ✓ 各種ベビーリーフの品質向上（農産物の品質一定化も含む）
- ✓ 各種ベビーリーフの安定生産
- ✓ 農家育成コンテンツの確立
- ✓ 農産物ブランド化への可能性調査